

分野：②

(総合的な学習の時間)

環境アドバイザー 足立 圭子

対象 所沢市立宮前小学校

5年(74人)

所要時間



2時間

場所 北中・水野の森

実施時期

令和3年2月17日

概要

おおたかの森の中の県景観地に指定されている北中・水野の森で、冬の雑木林の野生の生きもの探しと10年前にかつての5年生が植えた大きく育ち始めたアカマツ苗の周りの樹木を切り出し、竹杭を打ち込み、虫元気をつくる。

プログラムの
ねらい

ゴミ袋の有料化から地球規模の環境問題を学び、地域で何が起きているのか、どうしたら守れるのかをテーマに話し合いが進められてきた。宮前小学校から徒歩10分の「北中・水野の森」で、ノコギリや太枝バサミ、カケヤを使って森を豊かにする。

プログラムの内容

1 学校から徒歩(10分)

冬の森を観察しながら活動場所へ

2 冬の雑木林の生きものたちの説明(10分)

常緑樹アカマツの役割と見分け方、ハルゼミとの関わり

3 アカマツの周りの樹木をノコギリと太枝バサミで切る。

ノコギリの使い方、太枝バサミ、カケヤの使い方を説明

タラノキとキイチゴの棘でケガをしないように注意

アカマツに絡みついたツル植物を取り除く。

切り出した木は竹の杭を打ち込んだ中に積む

ヤマツツジは切らずに残す。

4 道具の確認、感想、意見の発表(10分)



受講者の反応

10年前に先輩たちが植えたアカマツがとても大きく育ってくれたのでびっくりした。少しでも生き物たちの森を育てることができてよかった。毎年、授業で続けてきて森が守られているのが分かった。森の場所によって様々な生き物がすんでいることが素晴らしい。これからも森に入ってこのような授業ができるといい。春になったらもう一度来てみたい。ノコギリも上手に使えるようになった。森の大切さを多くの人に伝えていきたい。森の授業はとても気持ちがよかった。